

令和3年4月から 対象者を拡大しました！

1008701

特殊詐欺等防止機能付き電話機などの購入費補助

悪質商法や特殊詐欺の手口は、年々複雑かつ巧妙化し、被害者の多くは65歳以上の高齢者です。一定の対策機能を持った電話機や機器の購入補助を活用しましょう。

対象者 65歳以上の人で、次の全てに該当する人

- ・市内に住民登録があり居住している
- ・市内住居に設置している
- ・市税に滞納がない

対象機器 電話機または電話機に取り付け可能な機器で、次のいずれかの機能を持つもの

■着信時に相手方に警告メッセージを発し、かつ、通話内容を自動録音する機能

■迷惑電話番号データベースに登録された情報により、迷惑電話番号からの着信を自動判別し、着信を拒否または警告表示する機能

補助額 購入費の全額(限度額5,000円)

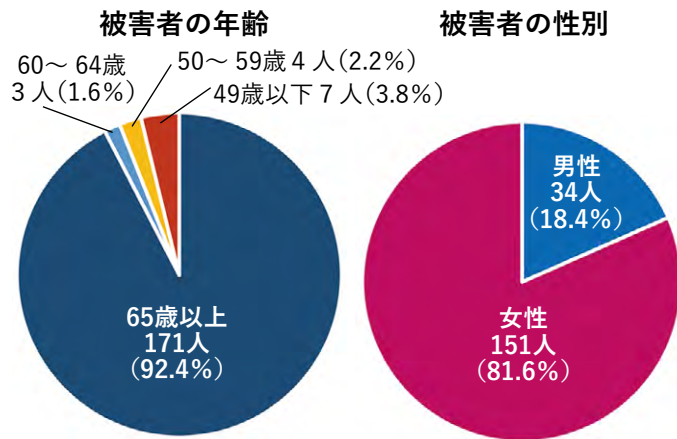
申込方法 次の①～④を全てそろえて申請。①領収書(対象者氏名、購入日、購入品名、購入店名などが記載されたもの) ②購入品の取扱説明書(対象機器であることの確認が取れるもの) ③対象者名義の通帳 ④印鑑(認め印可)

申込み・問合せ 市民協働課市民相談係 ☎内線 3056

<参考> ※群馬県警HPより

●県内の特殊詐欺被害発生状況(令和2年)

種別	発生件数	被害額
特殊詐欺	185件 前年比: △78件	約3億9,680万円 前年比: △約2億740万円



注意

- ・「還付金の受け取りはATMで手続きを」は詐欺です
- ・「オレオレ」と子を装い名乗らない電話は詐欺です
- ・「あなたが現在お持ちのキャッシュカードは使えません。交換に伺います」は詐欺です



一人一人の平和への祈りを込めた折り鶴
(写真左から)綿貫ひまりさん・小林蘭加さん・
横山市長・石井日瑠里さん・平田桜子さん



平和を祈り、被爆地・広島に寄せられた折り鶴の再生紙を使って再び折り鶴を届けようと、市内小中学校4校は「折り鶴再生・循環プロジェクト」に取り組み、平和な世界の実現を願いました。

川田小・多那小・沼田南中・薄根中が参加し、生徒会などが中心になって取り組みました。一人一人が鶴を折ることを通して平和について考えることができ、「今を生きる私たちはもう戦争はしない」と誓いました。

同プロジェクトは、戦後75年目の平和啓発事業として市が実施し、学校に呼び掛けました。3月24日に市役所で贈呈式が行われ、各校の代表者が横山市長に合計3千羽の鶴を届けました。横山市長は「皆さんの気持ちを受け取りました。広島から全世界へとつなげ、次世代へ循環していくことを願っています」と感謝。

折り鶴はテラス沼田4階(秘書課前)で展示後、広島の平和記念公園へ送ります。

問合せ 総務課行政係 ☎内線4012

折り鶴再び 平和つなぐ



小中学校4校が制作

平和を願う輪つなぎたい

平田桜子さん 一薄根中2年一

1人5枚を目安に学校全体で取り組み、一人一人が折り鶴に思いを込めて平和と戦争について考えることができました。

10月に修学旅行で広島を訪れる予定です。現地で直に学びを深め、平和を願う輪をつなげたいです。



力合わせて達成感 広島訪れたい

石井日瑠里さん 一沼田南中3年一

平和について考えることがほとんどなく、プロジェクトをきっかけにしっかり向き合おうと前向きに取り組みました。皆が丁寧に折ってくれる姿を見ると嬉しく、完成すると達成感で喜び合いました。

広島に関心を持つようになったので、いつか平和記念公園を訪れたいです。



皆で折り鶴 卒業前の記念に

綿貫ひまりさん 一川田小6年一

6年生が中心となり、全体で1,000羽を折りました。皆で心を合わせて折れたことが嬉しく、小学校卒業前の良い記念になりました。

戦争のことは社会科の授業で学んでいましたが、プロジェクトをきっかけに平和を考えようという意識を持てるようになりました。



皆で挑戦できて嬉しい

小林蘭加さん 一多那小6年一

社会科の授業で広島原爆投下について学んでいました。平和を祈りながら折り鶴に思いを込めて「戦争をしてはいけない」と改めて心に刻むことができました。

6年生が150羽折り、全校で500羽になりました。皆で折れたことが嬉しかったです。



～「沼田市第4次男女共同参画計画」策定企画～

策定委員さんの思い①ー幸せに暮らせる社会をつくるー

1001930

問合せ 市民協働課協働推進係 ☎内線 3051

「誰もが、ともに尊重し合い、思いやりと活力あふれるまちへ」をテーマに3月、沼田市第4次男女共同参画計画を策定しました。全3回にわたり、計画の策定に関わった市民の皆さんの声を紹介します。

(沼田市男女共同参画推進委員会
元委員長 中野敬造さん)

最近、ニュースで「ジェンダー平等」や「男女共同参画」などの見出しをよく目にします。策定に関わることで、以前より男女共同参画について関心を持つようになりました。委員の皆さんやアドバイザーの山口先生の意見を聞いて印象に残っていることは「男女共同参画

の社会が目指すものは、一人一人の市民が幸せに暮らせる社会」ということです。

当たり前のようですが、私たちが気付かないところで悩み、苦しんでいる人がいます。誰もが住みやすいまちの実現のためには、私たち一人一人がそのことに気付くことから始まるように思います。



計画書を横山市長に手渡し計画の策定を報告する中野さん

※計画の概要版を4月1日に全戸配布しています